

《担当者名》シルヴィア＝オレーヤージュ (gandrasan@gmail.com)

【概要】

本講義は、心理学の学派や、著名な論者、文化的コンテキストをキーワードに心理学の歴史的発展を探求するものである。講義では、ドイツ、アメリカ、ポーランド、日本の心理学の発展に貢献したヴント、フロイト、パヴロフ、ドンブロフスキやジェームス、そして、行動主義や、ゲシュタルト心理学、フランクルのロゴセラピー（意味中心療法）に特に注目していく。講義、グループ間の討論、論評などを通じ、受講生は、いかに心理学が学術的理論の発展に寄与したかを理解する。

【学修目標】

講義終了までに、受講生は以下の学習目標を達成する。

1. 心理学の歴史的発展と重要な概念を理解する。
2. 心理学の理論および実践を形作った著名な論者や行動の学術的貢献を分析する。
3. 心理学内の学派の差異を明らかにしつつ比較する。
4. 心理学の理論に影響を与えた社会文化的・歴史的な文脈を評価する。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	心理学史入門	<ul style="list-style-type: none"> ・心理学の哲学的根源（プラトン・アリストテレスの心身観）を概説する。 ・心理学史のキーテーマと課題を示す。 ・心理学が生じた歴史的背景の重要性 授業課題：ミニクイズ、導入的グループディスカッション	シルヴィア＝オレーヤージュ
2	学問の対象としてのドイツでの心理学の生成（ヴント、ティチェナーの構造主義）	<ul style="list-style-type: none"> ・ヴントの実験心理学の基礎 ・ライプツィヒの世界初の心理学研究所 授業課題：ヴントの実験（簡単な内観）に関するグループワーク、クイズ	シルヴィア＝オレーヤージュ
3	ジェームスと米国心理学の機能主義	<ul style="list-style-type: none"> ・機能主義と意識の調査 ・ジェームスの心理学原理 授業課題：ヴント、ジェームス、ティチェナーとの比較、クイズ	シルヴィア＝オレーヤージュ
4	フロイトと心理分析：精神力動の見方	<ul style="list-style-type: none"> ・フロイトの理論（無意識、夢解釈、心理的発達段階） ・文化的運動としての心理分析 授業課題：フロイト概念を用いた夢分析	シルヴィア＝オレーヤージュ
5	ユングと分析心理学	<ul style="list-style-type: none"> ・ユングのフロイト心理学からの分離と分析心理学の発展 ・集団的無意識、元型、人格 授業課題；心理分析	シルヴィア＝オレーヤージュ
6	アドラーと個人心理学	<ul style="list-style-type: none"> ・劣等と社会的関心に関するアドラーの理論 ・フロイトからの分岐 授業課題：フロイト対アドラーの議論	シルヴィア＝オレーヤージュ
7	パヴロフとロシア心理学	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統的状況と解釈 ・犬を用いたパヴロフの実験 授業課題：パヴロフの研究に関する映像分析、ディスカッション	シルヴィア＝オレーヤージュ
8	ワトソン、スキナーと行動主義	<ul style="list-style-type: none"> ・自発的条件と強化説 ・行動主義への批判 授業課題：実験的シミュレーション、心理学的実験の倫理におけるディスカッション	シルヴィア＝オレーヤージュ
9	エビングハウス、パートレット、ピアジェ、認知心理学	<ul style="list-style-type: none"> ・行動主義から認知心理学への変化 ・ピアジェやパートレットの貢献 授業課題：タイムライン作成、クイズ	シルヴィア＝オレーヤージュ

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
10	ゲシュタルト心理学	・ゲシュタルト理論の原理（概念、問題解決法） ・ケーラー、ヴェルトファイマー、レヴィン 授業課題：ゲシュタルト理論についてグループ発表	シルヴィア＝オレーヤージュ
11	人間性心理学	・マズロー、ロジャースの人間のアプローチ 授業課題：マズローの欲求発展段階を用いた自己分析	シルヴィア＝オレーヤージュ
12	フロイトとロゴセラピー	・既存の心理学と意味の探求 ・「生きることの意味の追求」に関するフロイトの概念と、その歴史的背景 ・現代の治療におけるロゴセラピーの適用 授業課題：フロイトの人間の意味の探求に関するグループディスカッション	シルヴィア＝オレーヤージュ
13	日本独自の心理学	・伝統的な心理学的アプローチ：森田療法と内観療法 ・日本における欧米心理学の影響 授業課題：現代日本の心理学に関するディスカッション	シルヴィア＝オレーヤージュ
14	ドブロフスキの文化的見方と積極的分離理論	・ドブロフスキの積極的分離理論 ・人格発達の5段階 ・刺激増幅受容性と人格発達の役割 ・ドブロフスキ理論の教育・カウンセリングへの適用	シルヴィア＝オレーヤージュ
15	心理学と21世紀の技術革新のインパクト（ソーシャルメディア、仮想世界、AIによるドーパミン分泌）	・報酬から学習意欲や動機に関するドーパミンの進化の研究：レンブケ『ドーパミン分泌』 ・自己決定、依存症、精神疾患におけるドーパミンの役割 ・仮想現実、ソーシャルメディア、AIとの相互関係への依存症 授業課題：ディスカッション、まとめ	シルヴィア＝オレーヤージュ

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【アクティブ・ラーニング】

導入している

【評価方法】

小テスト(20%)

授業中でのディスカッション、プレゼンテーション、授業後のオンライン上での意見（30%）

期末エッセイ：授業で議論された内容に関する1200文字のエッセイ（50%）

【教科書】

教科書は特に指定しない。必要に応じプリントを講義中に配布する。

【参考書】

参考書は特に指定しない。必要に応じプリントを講義中に配布する。

【学修の準備】

授業では、一般常識である心理学の基礎論に言及する。講義中は確認テストを通じて、これら事項を覚えてもらうため、各講義前に、シラバスより翌週扱うテーマについて、インターネットや書籍、心理学の参考書を参照して事前に調べておくこと（20分）。また、講義中に不明確であった点は、インターネット、書籍などの媒体を通じ確認し、学習しておくこと（20分）。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

DP1. 心の問題にかかわる職業人として必要な幅広い教養と専門的知識を修得している。

上記、心理科学部ディプロマ・ポリシーに適合している。

【ICTの活用】

特に用いないが、Google formsの使用については、各講義中に指示を出す。